



高速料金 はなぜ払うの

高速道路の通行料金で、借りたお金を返しているから

高速道路は、とても便利なものですね。今では、北から南まで、日本全国が高速道路で結ばれています。わたしたちは、高速道路を通るときには、利用したきよりに応じて、通行料金を払いますね。この通行料金は、高速道路を建設するために借りたお金などを、返すために使われているのです。

高速道路をつくるには、とてもたくさんのお金がかかります。高速道路の建設と管理を行っているのは、日本道路公団という団体です。道路公団は、高速道路をつくるために、その資金を国や民間から借りています。これらの借りたお金は、高速道路を利用する人たちが払う、通行料金によって返されているのです。

借りたお金は、40年間で返し終わる予定

高速道路をつくるために借りたお金は、40年間で返し終わるようになっていきます。現在、法律で建設することが定められている高速道路は、1万1520キロメートルです。これらをすべてつくり終え、借りたお金を全部返し終われば、高速料金は無料となるわけです。

借入れ金は、「プール制」という方法で返済されています。「プール制」というのは、全国の高速道路の収入と支出をいっしょに計算して、すでに建設した高速道路のために借りたお金の返済にあてるとともに、これから建設される高速道路の費用にもするという事です。（監修・田代 脩）

